

AMU-727

かぎ針で編む マスクカバー(テクノロート入り)

2020S/S

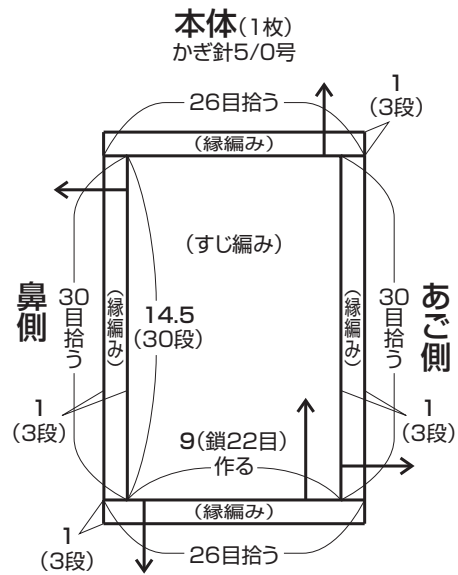
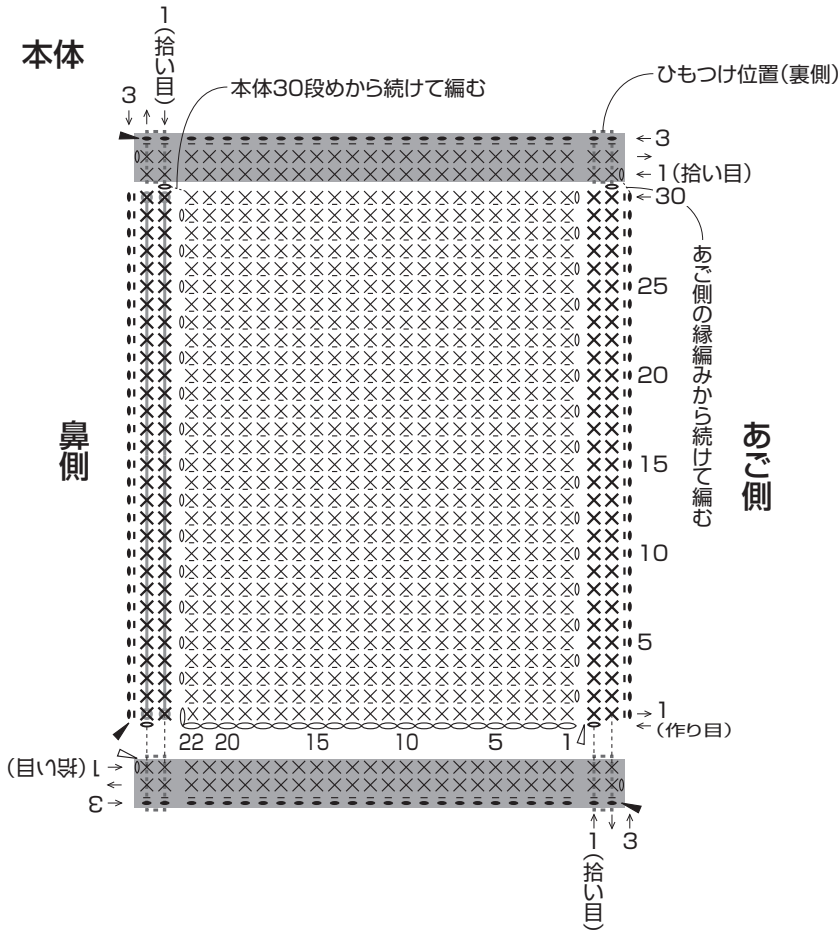
この作品はレシピ2枚です(2-1)



デザイン/ハマナカ企画

- ◆使用糸 ポーム《無垢綿》スーピマ(25g玉巻) 生成り(81)0.6玉(15g)
- ◆その他の材料 テクノロート(形状保持材)(H204-593)…長さ20cm×2本 熱収縮チューブ(H204-605)…10cm(2.5cm×4本)
- ◆使用針 ハマナカアミアミ片かぎ針5/0号
- ◆サイズ 縦11cm、横16.5cm
- ◆ゲージ すじ編み 24.5目20.5段が10cm角
- ◆編み方 糸は1本どりで編みます。

【本体】共糸鎖の作り目で編み始め、すじ編みで編みます。本体から続けて鼻側に縁編みを編みますが、1・2段めにテクノロートを編みくるみます。本体から目を拾い、あご側に縁編みを編みます。続けて、縁編み端・本体から目を拾い、両端に縁編みを編みます。【ひも】スレッドコード編みで編みます。【仕上げ】本体にひもをとじつけます。



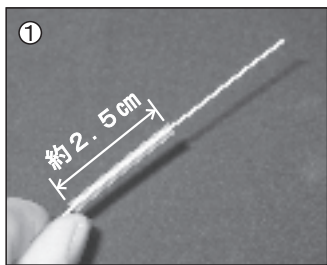
- × = 細編み
- × = すじ編み
(偶数段は前段の頭目向こう側半目を拾う)
(奇数段は前段の頭目手前側半目を拾う)
- = 引き抜き(前段の頭目向こう側半目を拾う)
- ↗ = 糸をつける
- ↘ = 糸を切る

寸法表記について

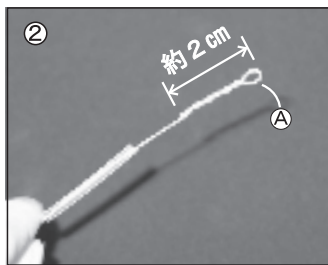
(例) 45(100目) = 45cm(100目)
38(60段) = 38cm(60段)

テクノロートの編み始め(—○)と編み終わり(○—)
— = テクノロート

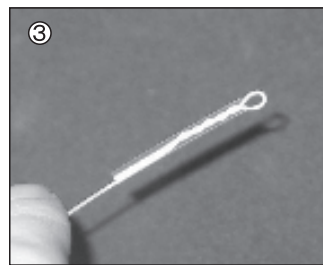
テクノロートの編みくろみ始めと終わりの始末



① あらかじめテクノロートにチューブを通しておきます。
※チューブは約2.5cmにカットします。



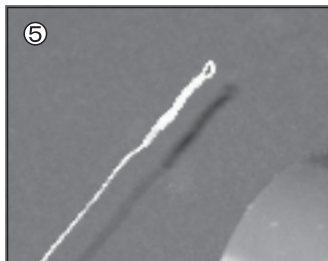
② テクノロートの端から2cm前後の所で折り曲げ、数回ねじります。この時ねじって作った輪(A)は、かぎ針の頭が入る程度の大きさにしておきます。



③ テクノロートをねじって作った輪の手前まで、チューブをずらしします。



④～⑤ ドライヤーでチューブ全体を加熱し、収縮させます。
※チューブが収縮しない場合は、さらにドライヤーを近づけて下さい。

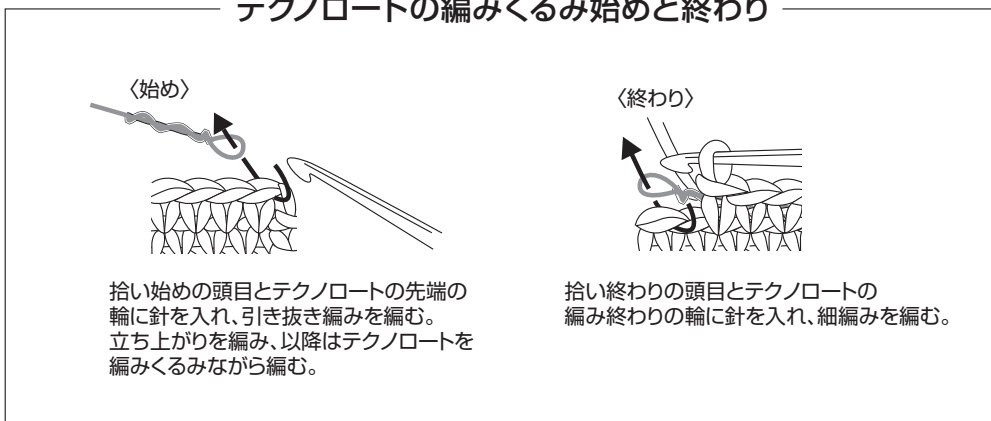


[ドライヤーをあてる時の注意]

- (1) 加熱時間は1分程度が目安ですがドライヤーの温度により、多少異なります。
- (2) チューブが収縮しない場合は、ドライヤーを近づけて下さい。(近づけすぎにご注意下さい)
- (3) ドライヤーを長時間あてたり、近づけ過ぎると、チューブだけでなくテクノロートも溶けてしまう可能性がありますので、様子を見ながらあてるようにして下さい。

※熱収縮チューブが折れても、品質上問題はありません。

テクノロートの編みくろみ始めと終わり



スレッドコード

ひも(2本)
(スレッドコード編み)かぎ針5/0号
約18(45目)作る

